



学校だより

浮舟

u k i f u n e

令和4年5月26日(木)

第8号

発行者 山田耕人

〒979-2157

南相馬市小高区吉名字中坪1

TEL 0244-44-2023

防犯教室を行いました

5月25日(水)、令和4年度防犯教室を実施しました。南相警察署生活安全課の方を講師としてお迎えし、主に管内等の犯罪発生状況やSNS等中高生が遭いやすい被害の防止についてご講話をいただきました。生徒たちの多くは、テレビなどの報道でしか知らなかった事件等が自分のすぐ身近で発生していることに驚いているようでした。また、講義の軸として被害者だけでなく加害者とならないためには、「遵法（じゅんぽう）精神」＝「ルールを守る」ことが大切であることをお話しくださしました。詳しくはお子さんからお聞きいただき、この機に、ご家庭のルールについて、ぜひお話し合ってください。



防犯教室に先立ち、生徒たちに話した内容を紹介します。

皆さんはイソップ物語の『羊飼いと狼』を知っていますか。羊飼いの少年に何度も「狼が来た」と言われて惑わされた村人は、いつしか「またか」と対応しなくなり、ついには本当の非常事態だということがわからなくなって、羊は狼に食べられてしまうという物語です。この物語の本来の目的は分かりますね。「うそをついてはいけない」ことを子どもに伝える童話なのですが、実は別の見方をすることができます。それは村人に「正常性バイアス」の働きが生まれていた、とも捉えることができます。

この「正常性バイアス（normalcy bias）」は、心理学の用語です。人間が予期しない事態に直面したとき、「ありえない」という先入観や偏見（バイアス）が働き、物事を正常の範囲だと自動的に認識する心の働きのことを意味します。何か起こるたびに反応していると精神的に疲れてしまうので、人間にはそのようなストレスを回避するために自然と“脳”が働き、“心”の平安を守る作用が備わっています。ところが、この防御作用ともいえる「正常性バイアス」が度を越すと、一刻も早くその場を立ち去らなければならない非常事態であるにもかかわらず、“脳”の防御作用（＝正常性バイアス）によってその認識が妨げられ、結果、生命の危険にさらされる状況に陥る可能性が高まってしまうのです。

皆さんの中には、「自分は大丈夫」と思って、例えばヘルメットをかぶらず自転車に乗ったり、遅い時間までスマートフォンで動画を見たりしている人はいませんか。それが、正常性バイアスが働いているということであり、いつの間にか自分を危険な状態にさらしてしまっているのです。

このあと、南相馬警察署生活安全課の方々からご講話をいただきます。平常時は心の安定を保つために大いに役立つ「正常性バイアス」ですが、お話を通して、危険を察知する力を確実に身につけ、「自分は大丈夫ではない」意識を高められるよう、真剣に耳を傾けてください。

(参考元URL:<https://tenki.jp/suppl/m.yamamoto/2015/04/18/3081.html>)

『小高中学校アピール』を作成しました！

令和4年度「小高中学校アピール」を作成しました。裏面に掲載しましたので、ご覧ください。このアピールは、学校と保護者、地域が一体となって子供たちの健全育成に努める宣言を意味します。三者が強力な連携を進めるとともに、学校教育への積極的な参画にご協力ください。

『とっさの一言』：ルールは守ってください。 Don't break the *rules. *rule は通常複数形

自己マネジメント力を鍛え、夢を実現できる、 心豊かでたくましい子供に育てましょう

こどもの命・将来を守ります。

- ◇学力向上に向け、授業では個別最適な学び、協働的な学びを推進し、こどもたちの未来を守ります。
- ◇心の居場所づくりに努め、すべての子どもの教育的ニーズに対応し、安心して学校生活が送れるよう取り組みます。
- ◇命を守る教育を組織的に取り組み、子どもの生命と身体を守ります。

教師が生徒と向き合う時間を増やします。

- ◇勤務の適正化を促進し、すべての教師が子どもと向き合う時間を増やします。
- ◇風通しの良い職場、高い倫理観を持つ集団づくりにより、不祥事を根絶します。
- ◇校内研修体制の見直しを図り、学び続ける教員の支援に取り組みます。

どんな時でもそこにある学校を築きます。

- ◇感染症対策に関する情報を常に更新、周知し、学校教育活動を適切に進めます。
- ◇気づきをマンネリ化させず、防災安全計画の見直し、実践に生かします。
- ◇ICTを活用した教育活動に向け、人的・物的環境の整備に努めます。

特色ある学校づくりにより、地域を支えます。

- ◇英語力を高め、グローバル社会に対応した世界に発信できる人づくりに努めます。
- ◇地域との交流を通し、地域を愛し、地域を支える人材を育成します。
- ◇チーム学校を有機的に編成し、セーフティネットとしての役割を果たします。